

海賊から「水軍」、

そして船手へ

最後の海賊へ

船手組頭

元和元年 魁元
 一組分限性舟之り之由
 舟運中舟手不持之由
 舟手組頭就任

▶ 船手組頭就任に関する記録 (個人・当館蔵)

それでも能島村上は海で生きた



▲村上元信肖像画(個人・当館蔵)

▲村上景親肖像画(個人・当館蔵)

- 会 期 平成30年 7月14日(土)～9月9日(日)
- 開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
※月曜休館(祝日の場合は翌日)、8月13日(月)は臨時開館
- 主 催 今治市・今治市教育委員会
- 共 催 村上海賊魅力発信推進協議会
- 会 場 今治市村上水軍博物館 2階 企画展示室
- 観 覧 料 無料(常設展示観覧は有料)

今治市村上水軍博物館

〒794-2203 愛媛県今治市宮窪町宮窪1285番地
TEL(0897)74-1065

村上水軍博物館

検索



平成30年度 今治市村上水軍博物館企画展
村上一学家萩藩船手組頭就任400年記念

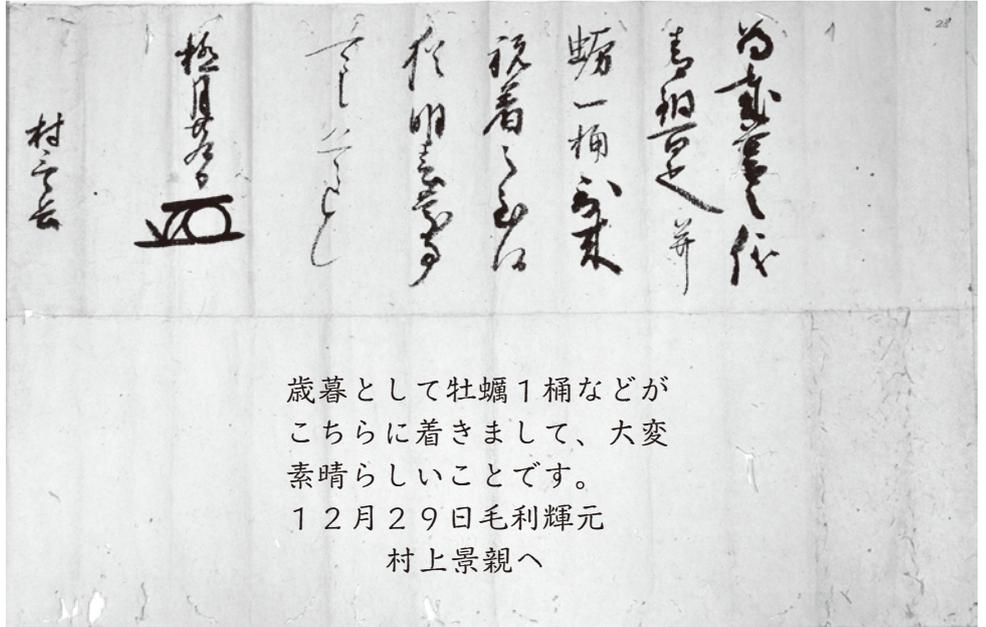
海賊から「水軍」、 そして船手へ



▲村上元信肖像画(個人・当館蔵)

▲村上景親肖像画(個人・当館蔵)

1618年、萩藩船手組頭に能島村上氏の村上一学家が就任しました。能島村上氏は、豊臣秀吉の海賊禁止令が出されてからも、秀吉の時代には「水軍」として海上で活動し、江戸時代には萩藩の船手組頭となり、海で生き続けました。この企画展では、村上一学家が萩藩船手組頭に就任して、今年で400年になるのを記念して、能島村上氏(村上一学家)が船手組頭に就任するまでの足跡を辿ります。



歳暮として牡蠣1桶などが
こちらに着きまして、大変
素晴らしいことです。
12月29日毛利輝元
村上景親へ

毛利輝元の書状であることが判明！
村上水軍博物館初展示！

毛利輝元書状(個人・当館蔵)▶

展示ストーリー

- 1、海賊禁止令
- 2、海賊から「水軍」へ
- 3、そして船手へ

おもな展示資料

- ・毛利氏奉行人連署書状：朝鮮出兵での輸送を担う
 - ・山口宗永(小早川秀秋家臣)書状：玄界灘を臨む
 - ・村上元吉宛行状：日本海を臨む
 - ・村上景親肖像画：最後の海賊
 - ・毛利輝元書状：歳暮に牡蠣を贈る(上写真)
 - ・村上元信肖像画：船手組頭
 - ・『略系并伝書』：1618年、船手組頭就任
 - ・萩藩加判衆連署書状：朝鮮通信使の警固・案内
- (いずれも個人・当館蔵)

お問い合わせ

今治市村上水軍博物館

村上水軍博物館

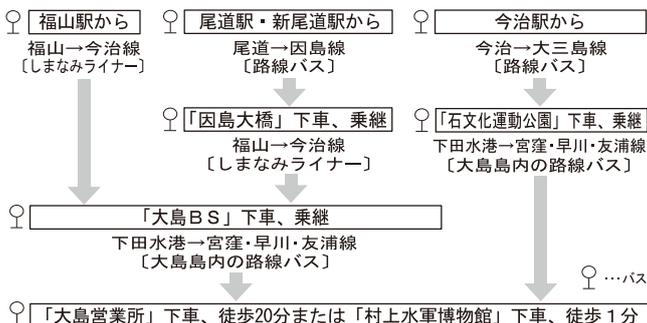
検索

〒794-2203 愛媛県今治市宮窪町宮窪1285番地 TEL(0897)74-1065

◆車【しまなみ海道】

- 尾道・本州方面から：大島北ICから約3km
 - 今治・四国方面から：大島南ICから約10km
- ※大島北ICおよび大島南ICはハーフィンターとなりますので、今治・四国方面からは最寄りの大島北ICでは降りられません。逆に本州方面からは大島南ICで降りることができませんので、ご注意ください。

◆JR→高速バス



※「宮窪」・「早川」行きの路線バスに乗りかされた場合は「大島営業所」にて「友浦」行きにお乗換ください。

